

平成28年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	抑制性免疫受容体による自然免疫応答の制御機構の解明
研究代表者	渋谷 彰 (筑波大学・生命領域学際研究センター・教授) ※平成28年6月末現在
研究期間	平成28年度～平成32年度
審査結果の所見	<p>本研究は、MAIR-I、Allergin-1、Clec10a等の抑制性免疫受容体のリガンドの同定や機能解析を通して、これら分子の生理的及び病理的意義の包括的理解を目指すものであり、革新性と独創性の高い提案である。応募者は、これまでも抑制性受容体の研究で国際的にも卓越した研究業績を上げており、また今回の提案の研究計画も明確かつ具体的である。本研究を遂行することにより当該領域をリードするに十分な成果を上げることが期待され、波及効果も大きいと考えられることから、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>